

市長と区長との 意見交換会

Q 小中一貫校のマイクロバスの件ですが、送迎だけでなく中学校の部活や交流といったいろんなものに使えるようにしてほしい。

A 基本は通学をきちんと確保し、活用については今後検討したい。

Q 人口減少の歯止めとして企業誘致の市の取り組みはどうなっているのか。

A 現在は2、3社と具体的な交渉をしている。誘致できるような頑張っており、引き続き努力していく。

Q 池ノ平市営住宅の空き家が多いが、放置状態になっている。ダニ等が発生しているので消毒してほしい。

A 空き棟ができたところは解体整地をしていく。消毒は現状を調査し対応したい。



▲北多久町での意見交換会

市政に対する質問や地域の課題など、市長が直接お話をうかがう意見交換会を、今年度も各町嘱託員会と併せて、7月24日から8月3日にかけて開催しました。そこで出された意見と回答の一部を紹介いたします。

Q 耕作放棄地が増え、中山間地域の農地が荒れてきて、山に近い状態になっている。大きな災害が起きる前に、災害防止対策ができるようにお願いしたい。

A 全てを市単独で対応することはむずかしい。活用できる予算を有効に利用して対策をしていきたい。

Q 下鶴地区は、地すべり対策をしてもらっているが、大雨の時などは、施設のパトロールに市の担当者も来てほしい。

A 県の地すべり対策施設などで、佐賀土木事務所を通じて市・県・地元と一緒に現地調査を行うようにしたい。

Q 豪雨時のための内水用の排水ポンプに課題のあった所があるようなので対応いただきたい。

A 今回の豪雨では、かなり長時間フル活動した排水ポンプもあり、応急対応もした。今後は市もしっかりケアしていきたい。

Q 中山・長尾線のバイパス道路の計画があったが中止になった。今後同様の計画はあるのか。

A 用地取得ができず中止した。再開の計画はないが、宮ノ浦バイパス

▼南多久町での意見交換会



完成で交通量や車の流れも変化が予想され、さらに交通安全の件については、今後検討していきたい。

Q 今回の豪雨で林道山頭線に土砂災害が起きている。除草した草が雨で流され側溝につまり災害の要因になっている。対応を。

A 今後そういうことがないように十分な指導と対策をしたい。

Q 多久市の高齢化・少子化について、行政は危機感があるのか。何か政策があるのか。

A しっかり対策をしなければと思っている。企業誘致の交渉や定住政策に力を入れ、また少子化対策についても子ども医療費軽減を考え、議会へ提案し対策していきたい。

Q 農業従事者の高齢化、農地が荒れている。こうした面に何か対策を考えているか。

A 高齢化により耕作がむずかしく

なってきた。特に中山間地域は斜面で難しさがあり、少しでも農作業が楽にできるよう圃場整備を進めている。

Q ゆうらく跡地の説明をしてほしい。また太陽光発電等の助成をしてほしい。

A ゆうらく跡地は市で取得し、清掃センター建設と周辺整備の方向で、まずは上揚地区へ説明会を行っている。太陽光パネル助成金については研究したい。

Q 今回の豪雨での被害など、自然災害は市の助成を検討できないか。

A 復旧工事の40万円以上が補助対象となり、補助対象外災害のうち農業施設災害で、10万円以上のものは単独事業対応可能なものもあるので、担当課に相談してほしい。

Q 私有地への不法投棄は、個人で処理しなければならぬか。古タイヤが25本捨ててあり個人で処理は無理である。

A 私有地であれば原則個人で処理となる。

Q 南西消防出張所計画について、今後どのように考えているか。

A 地域防災力・消防力の充実強化のため、広域消防局と研究していきたい。

問い合わせ

総務課 行政係

☎ 75-2112